

米雇用、5月は堅調なペースで増加

ポイント① 雇用は堅調なペースで増加

6月3日に発表された5月の米雇用統計によれば、非農業部門就業者数は前月比で39万人増と、前月から伸びが鈍化したものの、市場予想（31.8万人）を上回り、堅調な増加となりました。失業率は3.6%と前月から横ばい、平均時給は前年同月比で5.2%と依然として高い水準を維持しており、雇用の伸びは鈍化したものの、依然として労働需給の逼迫が続いています。

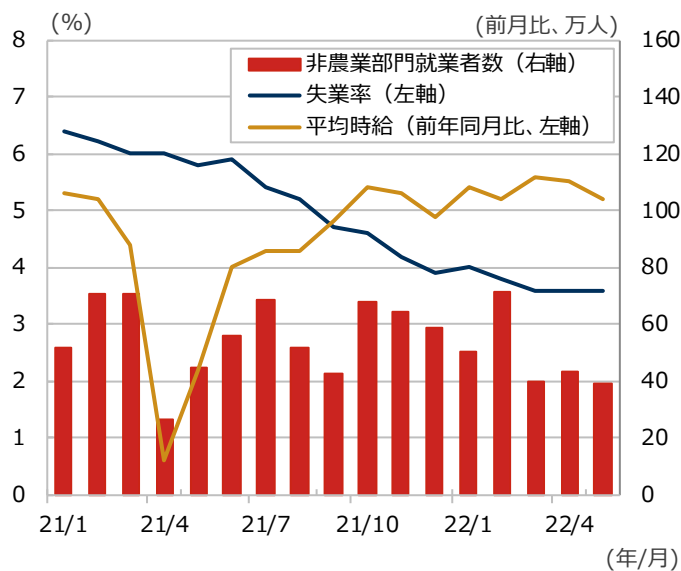
ポイント② 雇用は非製造業を中心に増加

業種別にみた雇用状況では、娯楽・ホスピタリティ業界の8.4万人増をはじめ、非製造業の雇用が増加しました。これは、非製造業の堅調さが背景にあります。5月の米ISM（サプライマネジメント協会）非製造業景況感指数では新規受注は増加しており、需要が高いことを示しています。また製造業景況感指数は新規受注の増加と生産の加速等を背景に前月から上昇しましたが、雇用者数の伸びは1.8万人増に留まり、労働力の確保には苦勞しているようです。

ポイント③ 次回FOMCでは0.5%利上げか

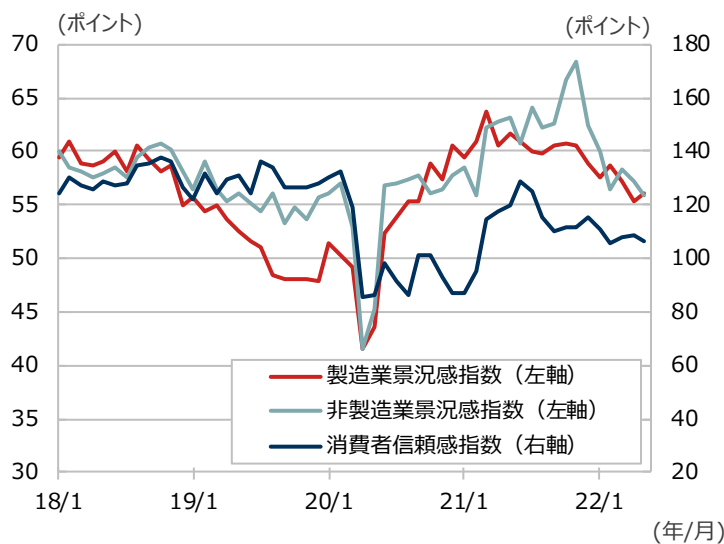
5月の非農業部門就業者数の増加は市場予想を上回る結果となり、平均時給の上昇率も高かったこと等から、6月3日の米国株は反落、米10年債利回りは前日比で0.03%上昇しました。市場ではFRB（米連邦準備制度理事会）の積極的な金融引き締め姿勢が、今後も維持されるという見方が広がったと考えられます。6月14-15日開催のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、市場の予想通り0.5%の利上げが行なわれる可能性が高いでしょう。

米失業率・平均時給・
非農業部門就業者数の推移



期間：2021年1月～2022年5月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米ISM景況感指数と
コンファレンスボード消費者信頼感指数の推移



期間：2018年1月～2022年5月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要 イベント	6月10日	米消費者物価指数（5月）
	6月15日	米金融政策発表